

淀川流域委員会猪名川部会

猪名川部会
松本 馨

猪名川モデルの骨子（素案）

I 目標像

- 1 流域の住民が安全に暮らすことのできる川
- 2 飲料水・農業用水として将来にわたって利用できる川
- 3 人々が安らぎを得、親しむことができる川
- 4 地域の環境を良好に保ち、生き物を豊かに育む川

II 方針

1. 洪水の不安のない川づくりを進める。
2. 様々な事故や災害を防ぐ河川管理を行う。
3. 水質の一層の向上をめざす。
4. 安定した水量を維持する。
5. 景観に配慮した川づくりを行う。
6. 人々が憩い、親しめる環境を維持・創造する。
*川としての自然特性を損なわない内容が大切
7. 川の文化の再生を考える。
*季節の行事や川での遊びを復活させる等。
8. 子ども達の遊び学ぶ場としての川づくりを進める。
9. 地域の気候を緩和し、地下水を涵養する。
10. 多様な生き物が生息できる多様な環境を維持する。
11. 海から源流まで生き物が行き来できる川にする。

III 施策方針案

1. 集水域内の保水・貯水機能強化
 - ①山林の維持（特に広葉樹林）
 - ②棚田・ため池その他遊水池の維持・確保
 - ③浸透弁の設置
2. 流域の生活雑排水等の監視強化
3. 不法投棄の監視・罰則強化
4. 猪名川へ排水する下水処理場の処理レベル向上
*自治体への要請（補助金なども検討）
5. 河川敷内に自然浄化水路を設置
6. 猪名川資料館の設置
7. 猪名川についてのインストラクターを養成
8. 流域の市民団体・グループとの提携・協同を推進
9. 新たな工事計画には、事前に流域住民への確実な広報活動実施

■国土交通省河川整備局への質問について

前回の部会で質問の件を依頼しておきながら、資料を十分読みこなす時間を持たずに、今になってしまいました。以下の質問の中で、私がよく読んで理解していないためではないかと思われることもありますので、三菱総研さんの方でわかれば12/18迄にご連絡下さい。

- Q 1 猪名川流域の総合治水対策では、具体的にどれだけの流量をどの場所のどの対策で維持するのかといった内容は、今までいただいた資料の中のどの箇所に出ていますでしょうか？
- Q 2 降った雨に対する河川への流入量を過大に見積もっているのではないかとする意見がありますが、集水域に降る雨量と流入する水量の関係を示すデータなどは、どんなものを基準にされているのでしょうか？
- Q 3 余野川ダムの予定地やダム建設に伴う環境への影響等について事前調査が行われていると思うのですが、その報告のコピーはいただけないでしょうか？
- Q 4 様々な治水対策の説明を伺いましたが、すでに着手しており、計画変更が困難な工事にはどのようなものがあるのでしょうか？また、これから予定されている治水対策工事としてはどのようなものがあるのか、その工事内容と予算規模を一覧で示してもらえないでしょうか？
- Q 5 自治体の下水処理事業へ補助金を出すというような施策は可能なのでしょうか？

■余野川ダムについての公開討論の提案

余野川ダムの必要性については慎重に検討する必要があると感じています。水需要の点では、必要性が少ないのではないかと考えていますが、治水上果たして必要不可欠なのかどうか判断がつかかねています。余野川ダムを造るか否かは、猪名川流域の治水対策に大きく影響すると考えられますので、この問題についてある程度方針を決めてからでないと話が進まないようにも思えます。

そこで、余野川ダムの必要性について、反対する立場の専門家グループと支持する専門家グループに委員会に出席いただき、公開討論をしてもらってはどうかでしょうか？その場で委員からの質問もさせていただければと考えております。米山部会長さんにもお伝えいただければと思います。

以上 予定期日を大幅に過ぎてしまい申し訳ないですが、よろしく願い申し上げます。